

H-16 型 MA-17 型 F フラッシュ -17 型を 麻酔器に接続できます。



※一部、接続できない麻酔器もあります。
※麻酔器と ICU などの同時使用はできません。
※酸素駆動方式の人工呼吸器には、酸素濃縮器を使用できません。
※H-16 型、F フラッシュ -17 型では吸入気の酸素濃度を 50%→30%→25%など下げることができません。

麻酔器と接続する利点

- 01 酸素切れのリスクが減って安全です。
電源さえあれば、酸素を安定供給できます。 ※酸素ポンベが必要ない訳ではありません。
- 02 めんどうなポンベの交換頻度を減らせます。
ポンベの交換頻度が減るので管理もラクになります。また、酸素濃縮器に変えても、麻酔器の操作は従来どおり変わりません。
- 03 コスト削減の手助けをします。
かかるのは電気代のみ。また、テルコム酸素濃縮器は安心の 3 年保証付きです。

- ⚠ **酸素ポンベも必要です。**
- ・笑気麻酔では、高圧酸素が供給されないと「ガス遮断安全装置」が作動して笑気回路のバルブが開かないものがあるため。（バルブを開くためには 350kPa の圧力が必要です。）
 - ・酸素駆動式の人工呼吸器使用の調節呼吸下ではポンベのガスが消費されるため。
 - ・停電や、万一の故障などで酸素濃縮器が使えない場合に備えて。
 - ・フラッシュ使用時に酸素濃縮器の圧力や流量の不足を補うため。（国際規格で 35～75 ℓ /min の酸素流量が瞬間的に必要）

酸素濃縮器の圧力・流量・酸素濃度について

麻酔中の気化器や呼吸器回路に必要な圧力は 3kPa ほどなので、酸素濃縮器の圧力（100～150kPa）で使用できます。

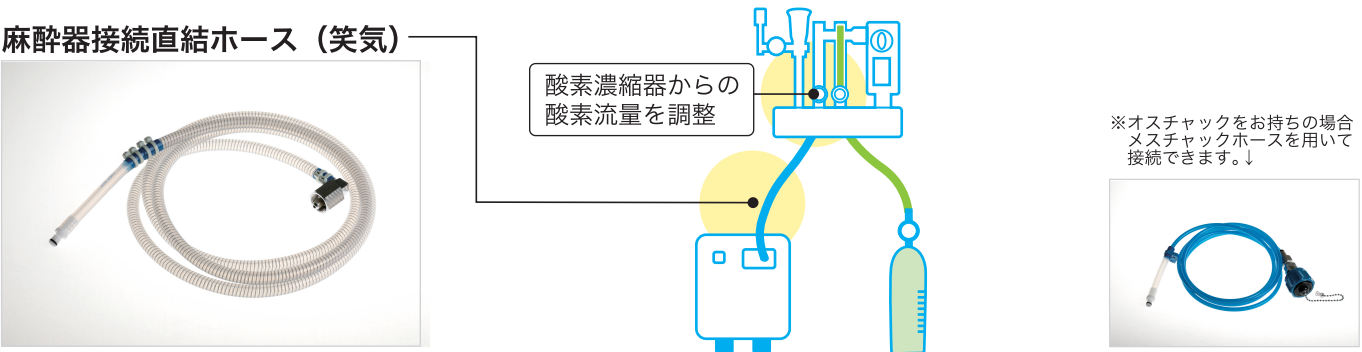
酸素流量 ℓ / 分	0.5	1	2	3	4	5	6	7	8
酸素濃度 %	96	95	94	89	82	74	67	61	56

※この値は実測値です。酸素濃縮器の特性に影響を受けるため ±5% 程度の誤差が生じることがあります。

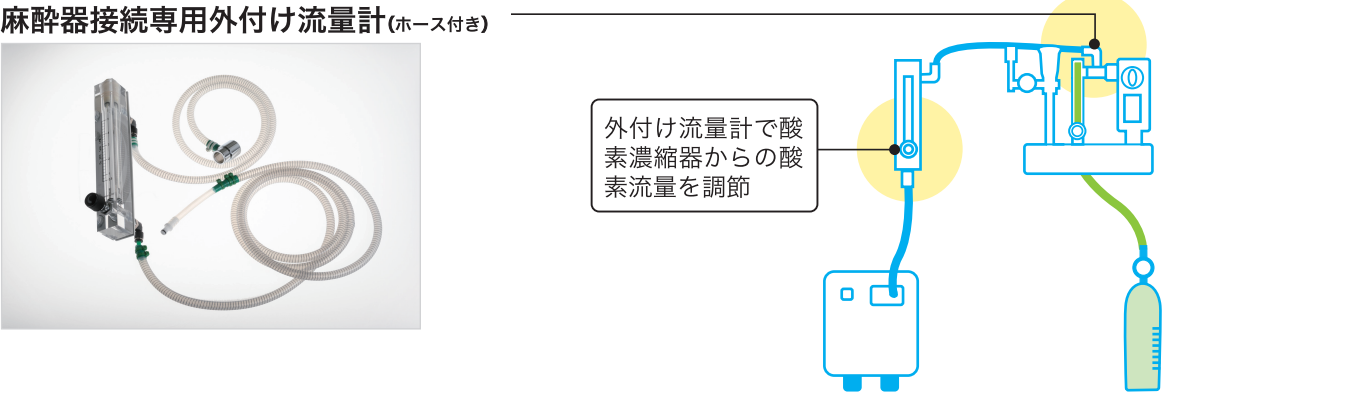
接続例

※あくまで一例です。下記に該当しない機種もありますので、メーカー・機種をご確認の上、ご相談ください。
※酸素ポンベは常時接続し元栓を開けておいてください。

- 笑気「カットオフバルブ式」の麻酔器 → 笑気回路に接続
- AIR の流量計がついている麻酔器 → AIR 回路に接続



- 笑気「インターロック式」の麻酔器 → 麻酔器接続専用外付け流量計にて接続
- 酸素の流量計のみが付いている麻酔器 → 麻酔器接続専用外付け流量計にて接続



- 酸素 / 笑気 / AIR すべての流量計が装備されている麻酔器 → AIR 回路に接続

